

議会

世界建築博覧会の延期を 条件整え壮大なスケールで

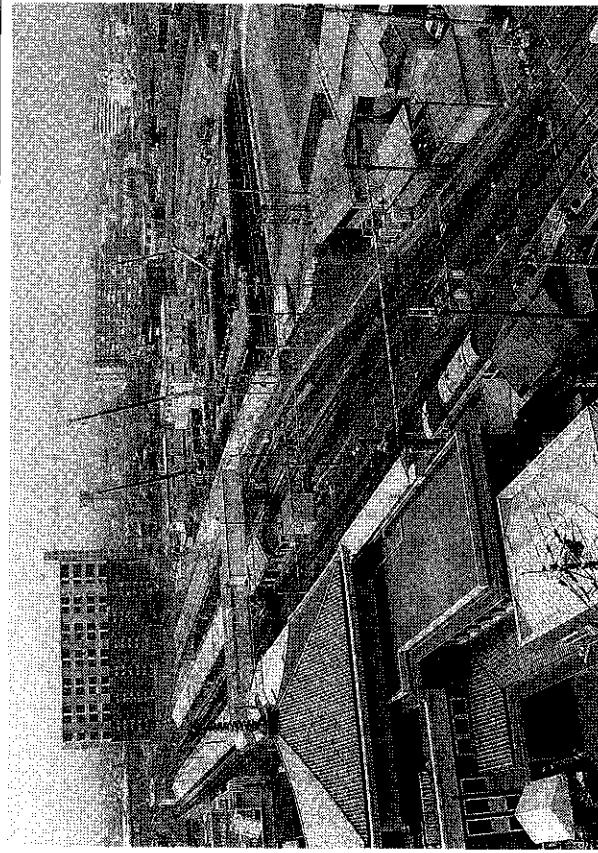
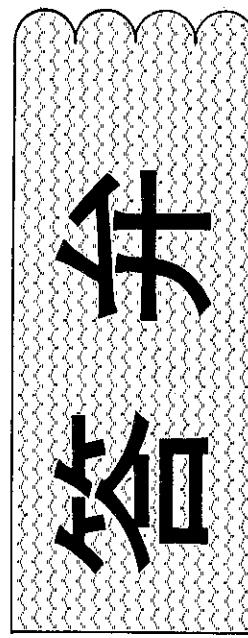
六月三十日、二十一日、二十二日の本会議では九人の議員が、質疑・一般質問を行いました。今定例会では、世界建築博覧会の延期が提案されるなど、建築博とJR奈良駅周辺整備事業が活発に論議されたほか、東部の土地利用、福祉、教育などについて質問がありました。以下は、その質問と答弁の要旨です。



奈良市議会だより

建都千二百年に開催を シルクロードタウン21整備遅れる

問 JR奈良駅周辺整備は平成十年の市制百周年記念事業と切り離し、JR奈良駅付近連続立体交差事業や朱雀大路、朱雀門、大極殿なども完成で条件整備が整う平城建都千二百年（平成二十二年）に、当初計画どおりの壮大なスケールで開催してはどうか。



当初計画に変更なし

JR奈良駅周辺整備

問 世界建築博覧会になる主会場には、主にJR奈良駅周辺の都市整備については一定方向転換が示されており、現状では、平成元年の当初計画しか公表はない。計画に変更はないのか。

答 百貨店の進出は現在、専門店志向型の量販店も複数に入り調整を行っており、今年度中には決定できると考えている。他の施設については

は着工できない状況であり、提言の趣旨は十分に検討の必要がある。総合プロデューサーなど多くの関係者もいるので慎重に検討し、次回定期会に報告したい。

市制施行百周年記念事業は着工できない状況であり、全施設二十五棟とした当初計画に何ら変更はない。しかし、ほとんどが民活導入であり、厳しい経済情勢の中、時期的に見通しつかない。コアゾン内の八棟については、平成十五年ごろの完成を予定している。ホテル地下駐車場は、四十八億三千五百六十万円となる。ホテルが使う必要台数、使用料金は利用形態等も含め、今後検討していく。権利床も合めた総額は、四百十七万四千円となる。

問 市制施行百周年には、二十一世紀への幕開けにふさわしい、奈良市民として誇りを得る記念事業を実施されたいが、その取り組みについて聞きたいたい。

答 この博覧会は、市制百周年を記念してJR奈良駅周辺を第一会場に、「シルクロードタウン21」と銘打ったまちづくりの大きな節目に当たる年であります。しかし、まちづくりが遅れていたいきたい。

問 市制施行百周年には、二十一世紀を展望するため、JR奈良駅周辺地区市街地再開発地下駐車場整備事業で約四十二億円を投じて、ホテルに貸す駐車台数を含めた総額は、約六百五〇台で昨年九月中学生死亡した。過去にも死亡事故が起きていたり、大変危険な場所である。関連道路の整備を含めた安全対策は。

答 市民や観光客等、不特定多数が利用できる公共駐車場の確保は不可欠である。駅前の大好立地にある再開発ビルでは駐車場付属義務条例違反による横断歩道（一条通りから北へ約一キロ）の横断歩道が横断中、乗用車にはねられ死亡した。過去にも死亡事故が起きていたり、大変危険な場所である。関連道路の整備を含めた安全対策は。

死亡事故多発の横断歩道



また、高畠サロンのような施設といふことだが、文芸作品や芸術作品を通じて奈良の魅力を知つてもうことは、銀光客の増加につながると考えている。



ニユータウンで活性化 東部の土地利用

問 東部地域では、昨年の出生数がわずか一千人ほどで、人口減少が進んでいる。過疎対策、活性化対策として住宅団地やニュータウンづくりが進められないか。

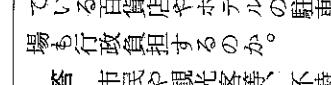
答 東部ゾーンの活性化対策として、一定規模の定住化人口の増進を図りつつ、併せて不可欠な企業誘致と一体となつた開発行政の展開を行なう必要がありますと考へている。



公園の一角落花づくり 花壇設置前向きに

問 地域に集会所の機能を備えた老人の憩いの場の二十一ヶ所的に行なわれるよう現在検討している。集会所の補助金に比べて大きな隔たりのある市町の見直しを行なうべきではないか。

答 公園整備については、ふじまた、トイレや公衆電話などを設置し、高齢者や地域の方方が公園をもっと有効に活用できるよう、住民参加で見直す考えはないか。



公園の一角落花づくり 花壇設置前向きに

問 横断歩道の安全性向上のための施設設置を要望してきた。現在、関係機関で検討していただいている。

答 東側に歩道がなく、建設省に新設の要望を行っている。

市道奈良阪南田原線外環状線と県管理の自転車道の間の取り付け道新設は、まず用地買収に努めたい。

答 東部ゾーンの活性化対策として、一定規模の定住化人口の増進を図りつつ、併せて不可欠な企業誘致と一体となつた開発行政の展開を行なう必要がありますと考へている。



仮称市民ホール 1700人の集会可能

問 開催地に大きな経済効果をもたらす。JR奈良駅周辺に建設する市民ホールの大ホールは、市内の既存施設と競合しない一千人規模が望ましい。

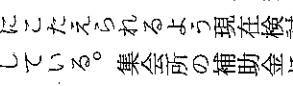
基本方針の検討をしたい。



答 公民館分館を地域の集会所的に、また、幅広い利用にこだわられるよう現在検討している。集会所の補助金に比べて大きな隔たりある市町の見直しを行なうべきではないか。

問 公園整備については、各都市と一概にはいきたい。

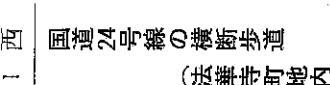
答 公園整備については、ふじまた、トイレや公衆電話などを設置し、高齢者や地域の方方が公園をもっと有効に活用できるよう、住民参加で見直す考えはないか。



1700人の集会可能

問 コンベンション誘致は、

今後、県の国土利用審議会で一定の方向付けがされば、本市の総合計画や東部ゾーンにおける大規模開発に関する基本方針の検討をしたい。



また、觀光振興と文化性の高揚のため、かつての高畠サロンのような文化人の誘致や交流施設を考えはどうか。

答 奈良市民ホールは当初、大ホール一千人、中ホール五百人を計画していたが、経済的な重圧もあり若干修正し、大ホール一千七百人、中ホール三百八十人、ミニホール百三十人、計一千一百人とした。

また、高畠サロンのような施設といふことだが、文芸作品や書籍や原稿、絵画等を収集・展示できる文庫的な施設を建設すべく用地の物色をしている。



ニユータウンで活性化 東部の土地利用

問 東部地域では、昨年の出生数がわずか一千人ほどで、人口減少が進んでいる。

答 東部ゾーンの活性化対策として、一定規模の定住化人口の増進を図りつつ、併せて不可欠な企業誘致と一体となつた開発行政の展開を行なう必要がありますと考へている。

